

紫雲山金戒光明寺黒谷は浄土鎮西四ヶの一本寺なり、元祖円光大師の旧蹟にして、叡山西塔の黒谷をうつして

新黒谷と称す、本尊には元祖大師の像を安置す、脇壇の厨子には親鸞聖人の像あり、共に自作なり。阿弥陀堂の本尊は

恵心の作なり。観音堂の本尊は行基の作にして、千手の像を安置す。〔洛陽観音巡りの其一なり〕勢至堂は法然上人の

廟塔なり。〔則勢至菩薩の化現なるの謂なり、台座の下に五輪の石塔あり〕熊谷堂には蓮生法師自作の像、太夫敦盛の

画像を安置す、三重塔の文珠菩薩は日本三文珠の其一なり。〔丹後切戸、和州安倍〕脇士は〔維摩居士、優波利尊者、

優墳王、善財童子等の四像を安置す、これを世に天照春日八幡住吉の神像なりといふ大に非なり〕紫雲石は塔の北にあ

り、元祖大師一宗開発の時此石より紫雲たなびき異香薫じけるとなり。〔紫雲山の号は此謂によるなり〕鎧池、鎧掛松

は、熊谷次郎直実上人の教に帰入し、着せし鎧を此池水にて洗ひ松に懸置しとなり。〔蓮生法師は承元二年九月十四日

往生すべしと諸方へ自身触まはり給ひしかば、結縁の道俗馳集り庵を圍繞し共に高声に念仏となへ、袈裟衣たゞしくか

け西に向ひ其日の未刻にをはりをとげけるとなん〕元祖大師鴨太神宮の神勅によつて浄土安心の要文を書し給ふ、是を

一枚起請といふ。〔当山第一の什宝なり、毎歳六月廿五日虫干の日に是を出して詣人に拜せしむ〕